

議会だより

No.99

令和7年7月15日号

今月の渥美半島の花
「ヒマワリ」



令和7年第2回定例会（6／12～6／26）

- 定例会で決まったこと・・・・・・・・・・ 2 ページ
- 議案一覧・主な質疑・・・・・・・・・・ 4
- 一般質問・・・・・・・・・・ 6

その他

- 議員とたはらトーク・・・・・・・・・・ 14
- 政務活動費・・・・・・・・・・ 16
- 議会の活動・・・・・・・・・・ 17



未来へつなぎたい三河の歴史と文化

お糸船（伊勢神宮神御衣奉獻）と神御衣御料所（インタビュー18ページ）

を含む全 16 議案を審議

令和7年 第2回

定例会 (6月12日～6月26日)

このようなことが決まりました

市長提出議案 16件

令和7年第2回定例会を6月12日から6月26日まで開催しました。
市長提出議案16件のうち、人権擁護委員候補者の推薦2件は異議なしと決定し、
令和7年度一般会計補正予算を含む14件はいずれも原案のとおり承認・可決しました。

▷関連4～5ページ

議案第47号 中小企業振興基本条例

中小企業振興基本条例が
新たに制定されました

中小企業が地域において果たす役割の重要性を踏まえ、その振興のため、基本理念や市の責務、中小企業者および小規模企業者の努力等を明らかにするとともに、地域社会が一体となって中小企業振興に関する施策を推進するために制定されました。

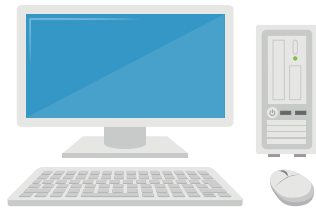


中学校体育館の空調整備

議案第49号市税条例の一部改正

インターネットを用いた公示
送達ができるようになります

公示送達(※)について、公示事項が記載された
書面をインターネットで閲覧できる方法が追加
されます。



※公示送達

調査しても書類の送達相手の住所等が不明な場合など、
書類の送達が不可能な場合に、役所の掲示板に一定の
事項を掲示する(これを公示という)ことにより、本
人に書類が着いたのと同じ効力を生じさせるもの。

議案第60号令和7年度一般会計補正予算(第1号)

中学生の新たな活動場所を
創出します

中学生の部活動の休日廃止に伴う休日の活動場
所を創出するため、地域クラブ協議会を立ち上
げ、認定された地域クラブ活動団体の指導者に
対して謝礼金を支払います。地域クラブ協議会
は、9月1日からの運用となります。



■令和7年第2回定例会議案一覧

議案 番号		市長提出議案
43	人権擁護委員候補者の推薦 (林 宏恭 氏)	
44	人権擁護委員候補者の推薦 (武田 福子 氏)	
45	専決処分の承認 (市税条例の一部改正)	
46	専決処分の承認 (国民健康保険税条例の一部改正)	
47	中小企業振興基本条例	
48	特別職の職員で非常勤のものの報酬 及び費用弁償に関する条例の一部改 正	
49	市税条例の一部改正	
50	市道路線の認定	
51	土地区画整理事業に伴う字の区域の 設定及び変更	
52	コミュニティバス車両購入契約	
56	校舎棟等解体工事 旧泉中学校(週 休2日) 請負契約	
57	屋内運動場等空調設備整備工事 東部中学校(週休2日) 請負契約	
58	屋内運動場等空調設備整備工事 赤羽根中学校(週休2日) 請負契約	
59	屋内運動場等空調設備整備工事 福江中学校(週休2日) 請負契約	
令和7年度補正予算		
60	一般会計(第1号)	
追加議案		
61	野田市民館建設工事(週休2日) 請 負契約	

※議案第53号、第54号、および第55号は、
本会議において撤回されました。

主な質疑

議案に対する
委員会・本会議での
議員の質疑・意見です

議案
No.46

国民健康保険税の基礎課税額と後期高
齢者支援金等課税額に係る課税限度額
の引き上げ

問 課税限度額の引き上げによる影響
は。

答 税額が増える世帯は、国民健康保
険加入世帯のうち、7・4%の約
670世帯の見込みである。また、
今回の改正は税率改正ではないた
め、中間所得層、低所得層の方に
は課税限度額引き上げによる影響
はない。

問 問い合わせに対してどのような対
応をするのか。

答 個々の世帯の所得状況や加入者数
等によって課税額が異なるため、
職員により窓口において、丁寧な
説明を行っていききたい。

議案
No.57・58・59

東部中学校、赤羽根中学校および福江
中学校の屋内運動場等空調設備整備工
事

問 3件とも工期が令和8年2月27日
までであり、工期中は屋内運動場
を使用できなくなると思うが、こ
の工事の影響は。

答 学校の授業や学校施設開放の利用
者の方へ、活動の場所や時期を変
更してもらう等の影響があると考
えている。ただし、工期は準備工
や外構工事を含めた期間となるた
め、実際の屋内運動場等が使用で
きなくなる期間については、工事
の影響を最小限に抑えるよう、受
注者に協力をお願いしていく。

問 学校現場との調整は十分に行われ
ているのか。

答 既に学校現場へ協力をお願いして
いる。各学校からは、屋内運動場
等が利用できない期間について
は、近隣の小学校の体育館や総合
体育館等を利用するほか、屋内運
動場等で行う授業の実施時期を調
整するなど、生徒の授業や活動に
支障がないように柔軟に対応して
いくと聞いている。

問 施設開放の利用者に対する周知は。

答 既に各団体へ個別に通知してお
り、代替施設の利用希望調査を実
施している。また、使用できなく
なる期間が定まったら再度詳細を
通知するなど、混乱を招かないよ
うに周知に努めていきたい。

(6/19 文教厚生委員会)

議案
No.49

インターネットを用いた公示送達

問 公示送達の方法について、イン
ターネットを用いる方法により、
公示事項を表示して閲覧できるよ
うにする方法も追加することのこ
ろだが、この改正の施行期日は、具
体的にいつか。

答 令和8年6月30日までの間におい
て、政令で定められる日となる。

問 当該者のプライバシーの保護の観
点から配慮が必要だと思われる
が、その点については。

答 国の考え方や他の自治体の事例を
参考に、公示送達制度の趣旨、目
的とプライバシーの保護の必要性
を勘案して公示事項を最低限にす
るなど、プライバシー保護に配慮
した運用を行っていく。

(6/19 総務産業委員会)

令和7年度一般会計補正予算(第1号)

定額減税補足給付金支給事業

問 支給事務の委託料として599万3千円が計上されているが、具体的な業務は。

答 給付支給の確認書等の印刷や、その印刷物の封入封かん業務、その他データ入力業務や、問い合わせ等への電話対応、確認書等の受付事務を行う。

担い手支援事業

問 経営発展支援事業の件数が33件となっているが、この内訳は。

答 親元就農者が32件、新規参入者が1件である。

問 親元就農が増えた要因は。

答 これまでは親元で農業を始めてから5年以内の方を補助対象としていたが、この規定が大きく見直され、農業を始めて5年経過した方も新たに対象に加えたことが、多くなった理由であると考ええる。

問 この事業でどのような効果が見込まれるのか。

答 次の世代に託す選択の後押しとなるほか、将来にわたり担い手の確保ができ、継続的な営農につながるものと考ええる。

農業経営支援事業

問 国の補助事業は成果目標を求められるが、こういったことが目標になっているのか。

答 農作業代行サービスを提供する農地面積を拡大することが目標となっている。

共育推進事業

問 指導者謝礼金の積算根拠は。

答 土曜日または日曜日の実働3時間程度の活動に対して1回4千円を支払う。これは指導者104名、7カ月分を積算根拠とした。また、部活動の地域展開をしている他市の謝礼を参考にして積算をした。

問 支給の方法は。

答 地域クラブからの活動実績報告書により、個人に支給されることになる。

問 子どもの居場所づくりの団体や障害者支援団体等が運動や文化活動

答 申請書の内容を確認し、認定要件を満たしていれば地域クラブとして認定されることとなる。

問 ボランティア活動等も地域クラブとして認定できるのか。

答 認定要件を満たしていれば、ボランティア活動や自然体験活動についても認定していく。

スポーツ大会支援事業

問 WSL QS6000(※)の支援として予算に計上されている負担金2500万円の金額の根拠は。

答 総額6千万円の内、賞金の1千万円を除いた2分の1の金額である。

問 競技運営費が主な事業費に当たるとのことだが、その中で具体的に大きな支出は。

答 競技会場の設営費、通信環境設備費等である。また、海外からジャッジーやライブ配信に関するスタッフを招くことから、その旅費、宿泊費、交通費などの経費が大きなものとなった。

問 この予算措置を伴う大規模な大会を行う必要性は。

答 愛知・名古屋アジア大会組織委員会が、2026アジア競技大会サーフィン競技に向けて輸送や物流に対するテストも実施する形になっている。本市としても、本大会の支援を実施することで、来年のアジア競技大会のサーフィン競技の開催、さらにはその成功につなげていきたいと考えている。

(6/20 予算決算委員会)

※WSL QS6000
世界プロサーフィン連盟(WSL)が実施する世界最高峰のプロツアーCT(チャンピオンシップツアー)の予選リーグにあたる。世界中からトップサーファーが集結する日本最大級の国際大会。

陳情を審査しました

▽最低賃金の全国一律化と大幅引き上げ、中小企業支援の拡充と公正取引を求める意見書の提出を求める陳情 他6件

文教厚生委員会および総務産業委員会にて陳情をそれぞれ審査した結果、全て不採択となりました。

※陳情結果はホームページでもご覧いただけます。



ここが聞きたい

一般質問



一般質問とは、議員が自身の考えや市民の皆さんの声をもとに市の行財政全般について方針や執行状況などを質問することです。

新型コロナウイルスワクチン接種の健康被害は

厚生労働大臣から3件の健康被害認定を受けた



まの ひさかつ
真野 尚功
自由民主党田原市議団



新型コロナウイルスワクチン接種について

問 ワクチン接種と新型コロナウイルス感染症に罹患した場合の重症化率や死亡率との関係性は。

答 当該感染症に罹患した場合の重症化率や死亡率と、ワクチン接種との関係性は検証するデータが存在していないため、確認できない。

問 副反応や健康被害の状況は。

答 副反応の症状はさまざまであるため、発生総数は把握していない。現在、3件について厚生労働大臣から健康被害の認定を受け、治療を継続している。

問 定期接種化後に使用されたワクチンの種類は。

答 ファイザー社、第一三共社、武田薬品工業社および、モデルナ社において製造または販売されたワクチンだと把握している。

問 使用されたワクチンの種類について、市民への周知は。

答 各医療機関で使用するワクチンの種類については、市ホームページに掲載し周知を図った。

問 定期接種化後に使用されたワクチンの安全性について、市の認識は。

答 国の審議会等において薬事上、有効性および安全性の評価を受け、定期接種に使用するワクチンとして予防接種実施規則に位置付けられているため、使用上問題ないと認識している。

問 当該ワクチン接種に伴う副反応および健康被害のリスクや、予防接種健康被害救済制度について、市民への周知は。

答 予防接種に伴う副反応などについて記載した説明文を予診票とともに送付することに加え、市ホームページにて周知を図った。健康被害救済制度は引き続き、市ホームページで周知を図っている。



辻 史子
公明党田原市議員



包括的性教育を進める上での課題克服のために取り組むことは

まずは教職員が包括的性教育について理解を深めることが必要

ウェルビーイングの向上について

問 ウェルビーイング(※1)をさらに向上させるため、施策や事業をどのように推進していくのか。

答 本年度実施する市民意識調査で市民が考える幸福感を高めるために必要だと思うことも調査し、これらの結果を今後の施策や事業に生かしていく。

問 職員のウェルビーイング向上についての考えは。

答 健康診断やストレスチェック等、心身の健康保持に向けた取り組みを行ってきた。また、テレワークの導入や、子育て、介護との両立支援など、ワークライフバランスの推進に取り組んでいる。令和7年2月1日からは、誰もが働きやすい職場環境を目指し軽装勤務を通年化した。今後も職員のウェルビーイング向上が地域の活性化と住民サービスの向上につながる好循環を生み出すよう取り組んでいく。

※1 ウェルビーイング
身体的、精神的、社会的にも良好な状態を指す概念。

包括的性教育の在り方について

問 包括的性教育(※2)について、市の考えは。

答 体や妊娠・出産、性感染症の予防等を含めた生殖に関する知識だけでなく、人権やジェンダー、多様性を含めた理解など、幅広い分野での性に関わる教育が求められる状況になっている。多様性が尊重される社会づくりに参画できる子供が育つよう、包括的性教育を推進する必要があると考える。

問 包括的性教育を進めていく上での課題克服にはどのように取り組むのか。

答 まずは教職員が先進校の視察や研修会、情報交換を通して包括的性教育について理解を深め、その上で、保護者への周知を通じて包括的性教育を一層推進することができると考えている。

※2 包括的性教育
ユネスコ（国際連合教育科学文化機構）などが発表した国際セクシュアリティ教育ガイダンスで提唱しているジェンダー平等や性の多様性、体の権利といった人権尊重を基盤に幅広く学ぶもの。



一般質問

P 6	眞野 尚功	新型コロナウイルスワクチン接種について
P 7	辻 史子	ウェルビーイングの向上について 包括的性教育の在り方について
P 8	山上 勝由	農地の継続的な利用について
P 8	中村健太郎	市職員の働きやすい環境づくりについて
P 9	内藤喜久枝	健康づくりの推進について
P 10	内藤 浩	障害のある方との地域共生社会実現に向けた取り組みについて
P 10	古川 幸宏	コミュニティバス運行事業について
P 11	小川 貴夫	安心で安全な社会の構築について
P 12	中神 靖典	児童・生徒の安全対策について
P 12	小川 金一	超高齢社会の進展への対応について
P 13	中野 哲伸	部活動の地域展開について

田原市地域計画の運用状況は

農業の担い手確保や農地の集約化の促進が図られるように運用している



やま かみ かつ よし
山上 勝由
自由民主党田原市議団



農地の継続的な利用について

問 田原市地域計画の運用状況は。

答 現在、この地域計画を市ホームページ等で公開しており、農地の貸し借りや売買が円滑に行われるように活用するなど、農業の担い手確保や農地の集約化の促進が図られるように運用している。また、基盤整備事業が必要となる地域では、事業計画を策定する際の資料として活用する。

問 地域計画の目標地図を見ると、10年後に担い手が位置付けられていない農地が多いと感じるが、どのようなところに課題があるのか。

答 農業者自身が10年後のイメージができないことや、農地が多い地域は現実的に全ての農地に担い手を位置付けられないことが考えられる。

問 地域計画をさらに有効なものにするために、今後どのように取り組んでいくのか。

答 それぞれの地域において話し合いを継続するとともに、農地の利用が確認できていない耕作者の意向を把握するなど、農業委員会をはじめとする関係機関と連携し、着実な運用に努める。

問 担い手の農地取得の支援は。

答 農地・園芸施設バンクとして、市内の手放したい農地や農業施設などの情報を市のホームページに公開するほか、バンク登録者へのメール配信を行うなど、担い手への売買や貸借のあっせんをしている。

問 農地・園芸施設バンクの新規登録を促す取り組みは。

答 市役所での窓口申請や郵送申請に加え、令和6年2月からオンライン申請を行っている。

問 担い手の農地取得に対して、今後どのような支援を考えているのか。

答 農地・園芸施設バンクの農地情報を地図上に掲載し、希望する農地を見つけやすくする地図情報システムの整備を行う。

市職員の働きやすい環境づくりについて

問 窓口業務の受付時間の見直しを行う考えがあるのか。

答 本年度、時期や時間帯による窓口業務の状況や職員の勤務実態、受付時間を短縮した場合の市民サービスへの影響などを総合的に検証し、実施に向けて研究していきたい。

問 受付時間の見直しを研究していくとのことだが、現時点でどのような見直しが考えられるのか。

答 受付開始時間を遅らせることや受付終了時間を前倒しするなど、職員の適正な労務管理に資する形での見直しが考えられる。

問 受付時間を短縮する時間幅を今後検討すると思うが、具体的にどのように決定していくのか。

答 時間ごとの窓口の利用状況を分析し、短縮による市民サービスや業務への影響を見極めた上で、適切な時間幅を研究していきたい。

窓口業務の受付時間の見直しを行う考えがあるのか

窓口業務の状況や市民サービスへの影響などを総合的に検証し、実施に向けて研究していきたい



なか むら けん たろう
中村 健太郎
国民民主党田原市議団





ないとう きくえ
内藤 喜久枝
自由民主党田原市議員



市民が自主的に健康づくりに取り組める環境整備の進め方は

ウォーキングコース等身近なところで運動できる環境を整えている

健康づくりの推進について

問 市民が自主的に健康づくりに取り組める環境整備の進め方は。

答 ウォーキングコースやサイクリングルートなどを整備し、身近なところで運動できる環境を整えている。

問 健康づくりに対する個人への意識付けについて、市の認識は。

答 健康への関心は個人差があるため、関心の度合いに合った施策の必要性を認識している。健康に対する関心が低い層の健康づくりへの動機付けを目的とした健康マイレージ事業の魅力向上や充実を図り、参加を促すことで、個人の意識付けを推進する。また、健康情報を発信する健康アンバサダーによる健康情報の展開や、食育推進協力店の拡充に協力することで、生活習慣の改善を意識できる機会を増やす。

問 健康づくりに関わる人材育成の具体的な進め方は。

答 食生活改善サポーター、健康づくりリーダーに対し、養成講座の開催や研修会参加への支援、また、活動に必要な学びの機会を提供している。

問 健康づくりリーダーとの協働や支援は。

答 健康づくりリーダーの養成や活動、普及啓発などへの支援、ラジオ体操指導者講習会などの研修会会の提供を行う。また、健康づくりリーダーとともに市民ニーズの把握や健康課題の共有、活動事業の展開の検討などを行っていく。



問

受付時間の短縮は市民サービスの低下も課題とのことだが、その点への対応は。

答

デジタル化の推進により、来庁せず、かつ時間を問わず手続きができる環境整備を進めていきたいと考えている。

問

カスタマーハラスメントへの対応マニュアルの整備が必要と考えるが、市の見解は。

答

対応マニュアルなどの作成が必要だと考えている。

問

人事評価制度において、業務のスクラップを評価する視点についての考えは。

答

行政改革や予算編成において、ゼロベースでの業務の見直しを求めるなど、改革・改善の取り組みを求めている。職員の取り組みが適正に評価されるよう、今後も着実に取り組んでいく。

新たな施設に関してユニバーサルベッド設置の考え方は

県の基準を参考に施設の目的、利用者のニーズ等を考慮し検討する



ないとう ひろし
内藤 浩
新政田原自民クラブ



障害のある方との地域共生社会実現に向けた取り組みについて

問 障害のある方との地域共生社会実現に向けた推進体制は。

答 障害福祉関係機関や病院、当事者やその家族等で構成する田原市障害者自立支援協議会が検討した結果を受け、新たな障害福祉制度の創設や各種制度の周知および研修を実施することで、推進体制を取っている。

問 ダイバーシティ&インクルージョンの理念を広めるための本市の取り組みは。

答 障害分野において、今後も田原市障害者自立支援協議会を中心に、関係機関との連携等により障害に関する理解を広める取り組みを行う。

問 障害児やその家族が希望する、地域生活の継続に必要な取り組みは。

答 相談機関として、田原市子ども相談支援事業所を設置している。また、個別のニーズに応じた福祉サービスや、日常生活用具給付事業等の給付制度利用への案内など、地域生活を継続していくための支援を行っている。

問 本市において、誰もが使いやすい公共施設のユニバーサルデザインへの取り組みは。

答 県の条例や田原市人にやさしい街づくり整備方針等を踏まえ、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた設計を心がけている。

問 新たな施設の整備が見込まれる中、これらの施設に関して、ユニバーサルベッド設置の考えは。

答 県の基準を参考に施設の目的、利用者ニーズ等を考慮し検討する。



コミュニティバス運行事業について

問 ぐるりんミニバス中山線デマンド運行実証実験を通して、どのように運行方式を決定するのか。

答 デマンド運行と定時定路線のそれぞれのメリットとデメリットを踏まえつつ乗車人数を比較するとともに、新たに広げた区域のバス停や時間帯ごとの乗車人数などの実績のほか、利用者アンケートの結果を基に検証する。これらの情報を基に、田原市地域公共交通会議において、デマンド運行導入の可否をはじめ、中山線にふさわしい運行方式について検討し決定していく。

問 デマンド運行のメリットは。

答 自分に都合の良い乗車時間を予約することができる。また、路線運行ではなく区域運行にすることで、利用実態に合わせてバス停の設置場所を増やすことができる。

実証実験を通じた運行方式の決定方法は

実績やアンケート等を基に検討し決定する



ふるかわ ゆきひろ
古川 幸宏
自由民主党田原市議団





おがわ たか お
小川 貴夫
自由民主党田原市議団



一般家庭の防犯カメラ設置を支援する 仕組み作りの考えは

侵入盗の状況や地域の特徴を捉え、今後研究していく

安心で安全な社会の構築について

問 市内で起きる犯罪の特徴は。

答 侵入盗や自転車盗、車上狙いの件数が多く、その特徴として、家の無施錠や自転車に鍵をかけずに駐輪するなどのケースが多く見られる。

問 一般家庭が防犯カメラを設置する際に支援する仕組みを作る考えは。

答 侵入盗の状況や地域の特徴を捉え、今後研究していく。

問 現在、防犯灯整備の補助率は2分の1であるが、それを見直して地域の負担を少なくする考えは。

答 犯罪に対する市民の意識を高めることを優先とし、補助率の見直しは、その効果を踏まえ検討する。

問 農機具や農作物、金属の盗難が増える中、農業団体や漁協、商工会などからも防犯カメラの設置について要望を聞いている。

答 関係団体などと検討し、総合的に判断していく。

問 監視カメラの設置による不法投棄の防止効果は。

答 事業系の廃棄物と思われる大量の食品残渣が繰り返し複数のごみステーションに排出される事案があったが、自治会と市で協力の上、監視カメラを設置し、警察に通報する旨を表記したことで、それ以降、同様の不法投棄は完全になくなった。

問 不法投棄の重点箇所全てにカメラの設置をしては。

答 不法投棄防止の看板や立ち入り禁止のロープの設置などの対策や、定期的なパトロールによっても不法投棄が減らず、監視カメラによる対策が必要不可欠と判断した時には、地区自治会と協議の上、状況に応じて追加設置を検討する。



問 事前の周知方法は。

答 広報たはらや市のホームページ、関係校区での説明会の開催、バス停やバス車内での掲示のほか、田原市公共交通ガイドブックに中山線の利用方法や予約方法について解説したページを追加し、全戸配布する。

問

当日体調不良や都合で説明会に来られない人、関係校区外から利用する人のために、後日アーカイブで見られる方法は考えられないか。

答

より多くの方に周知できるよう、後日動画で見られるような方法などについても検討していきたい。

問

予約方法が電話のみとのことだが、メールやLINE、Web申し込みなど、インターネットやITを活用した予約受付は実施されないのか。

答

今回の実証実験では、電話予約のみで実施する。電話以外の申込方法の導入については、実証実験を通じて利用者の需要を把握した上で、運行事業者と調整の上、検討していく。

安全対策が不足する通学路の今後の取り組みは

多角的な視点で安全対策の検討を行い、対策を進める



なか がみ やす のり
中神 靖典
新政田原自民クラブ



児童・生徒の安全対策について

問 児童の登下校時における通学路の安全対策は。

答 田原市通学路交通安全推進協議会において、毎年、市内全ての通学路の危険箇所や安全性について点検・協議し、交通安全施設や防犯施設の設置、改修等の対応をしている。また、集団下校の実施や交通指導員などの付き添い、青パトの定期的な巡回など、登下校時の安全確保に取り組んでいる。

問 安全対策が不足する通学路の今後の取り組みは。

答 田原市通学路交通安全推進協議会において、多角的な視点で安全対策の検討を行い、通学路の変更を含めた優先順位により対策を検討していく。

問 急激な気象変化に伴う学校の対応は。

答 WBGTという気温、湿度、輻射熱を考慮した熱中症を予防するための暑さ指数を活用し、活動の可否を判断するとともに、小まめな水分補給を指導している。

問 冷たい水を安心して補給できるウォータークーラーを設置し、熱中症予防のための環境を整備する考えは。

答 現時点では設置する計画はないが、他の熱中症対策を実施する中で、必要に応じて検討したい。

問 学校の防犯対策は。

答 学校敷地内への出入りを限定、防犯カメラや各教室と職員室を直接つなげるインターホンの設置、教室間で連絡を取り合うトランシーバーを常備して、非常時でも情報共有ができる体制を整えている。また、田原警察署等の指導のもと、教職員の不審者対応訓練を毎年実施し、防犯意識の向上に努めている。



高齢者の多様なニーズに対応する施策は

地域や社会と関われるきっかけを提供していく

超高齢社会の進展への対応について

問 地域での見守り体制の強化や認知症の高齢者とその家族に対する支援体制、社会的孤立対策は特に喫緊の課題であるが、具体的な施策と今後の方向性は。

答 見守り体制強化のため、高齢者支援センターを中心に自治会や民生委員、関係機関と連携した定期訪問や相談支援を実施している。今後は、既存のサービスや支援だけでは対応し切れない課題や新たなニーズへの対応、課題解決に向けた仕組み作りが必要となる。認知症高齢者とその家族への支援体制は、認知症地域支援推進員や認知症初期集中支援チームの活動で早期発見・受診を促し、今後は本人の意思の尊重と家族負担軽減のための相談支援や、認知症本人を短期間預かるレスパイト提供体制の拡充を目指す。社会的孤立対策としては、住民主体の活動を支援し居場所を確保することで、人とのつながりを実感できる取り組みを実施している。今後は、孤独・孤立の状態は人生のあらゆる段階において何人にも生じ得ることとして、世代を超えた多世代交流のつながりを創出するほか、地域とのつながりを強化する施策を検討していく。



お がわ きん いち
小川 金一
自由民主党田原市議員





なかの あきのぶ
中野 哲伸
空のひばり会



地域クラブの考え方は

従来の学校管理下になる部活動を引き継ぐものではない

部活動の地域展開について

問 地域クラブの考え方は。

答 中学生が休日も活動できる場として、令和7年9月から田原方式による地域クラブの活動を開始する。この地域クラブは、従来の学校管理下になる部活動を引き継ぐものではなく、新たに生徒が各自で自由に休日の過ごし方を選択できるようにするため、学校外での活動を希望する生徒に対して休日の活動の受け皿となる地域クラブを設置し、生徒がより豊かな生活を通じて、自らの成長や新たな可能性を発見できる場となるよう取り組み内容を考えている。

問 生徒への配慮については。

答 特別な支援を必要とする生徒の参加希望に対しては、保護者をはじめ、学校の担任や特別支援教育コーディネーター、地域クラブの代表者などが一緒になって生徒にとって最善策を協議する必要がある。また、地域クラブの指導者については、年間2回の研修を受け、生徒の発達段階や多様性などについても学んでもらう。

問 想定しているクラブや団体は。

答 学校施設開放団体として活動するスポーツ団体、吹奏楽や演劇、クラシックバレエ等の団体や、市内で活躍しているサークル活動など、新たな分野で生涯学習にもつながる活動を想定している。

問 9月の開始に向けて生徒や保護者、市民にどのようなスケジュールで周知していくのか。

答 学校の夏休み中に各学校を通じて地域クラブの目的や方向性、活動内容等について情報発信していく。また、当面の間は、市ホームページに地域クラブの紹介ページを設け、各クラブの活動内容や参加方法、参加費等を掲載し周知を図っていきたい。



答

問

高齢者の多様なニーズに対応できる新たな活動の場の創出や、社会貢献活動への参加を促進するための仕組み作りについて、具体的な施策は。

新たな活動の場の創出については、サロンや介護予防教室等を開催し、さまざまな活動の場を提供していく。また、蔵王地区をモデル地区としてワーキング会議を開催することで、地域と行政が一緒になり地域ニーズを把握し、新たな活動の場の創出を含めた取り組みを検討している。加えて、シルバー人材センターへの支援を通じて就業機会の提供や、高齢者の経験や技能を生かせる場を創出していく。社会貢献活動への参加を促すための仕組み作りとしては、福祉有償運送認定講習会、防災ボランティア養成講座のような、地域課題の解決に意欲のある方が主体的に取り組むことのできる講習会や講座等を開催することで、地域や社会と関われるきっかけを提供していく施策を進めていきたい。



議員とたはらトーフ



4月24日（木）田原文化会館において、令和7年第1回定例会の議会報告会およびテーマごとに意見交換を行いました。頂いたご意見は議員全員で共有し、政策提案等の検討材料としていきます。

※ご意見は抜粋して掲載しています。



意見交換会テーマ 1. 子育て・教育環境について

不登校の子どもに対し第3の居場所をつくる必要がある。

少子化対策として適正な学校編成を行ってほしい。

部活動に代わるクラブを田原市につくっていきたい。

意見交換会テーマ 2. 日常生活の移動手段について

福祉有償運送認定講習会の周知をお願いしたい。

ライドシェアを推進してほしい。

デマンドバスの実証実験を成功させ市内に広めてほしい。



意見交換会テーマ 3. まちなかのにぎわいづくりについて

駅前等でイベント開催や景観づくり等を行っているが、観光につながっていない。

すくっとはにぎわっているが、商業振興につながりにくい。

減災への取り組みをさらに強化した街づくりを進めてほしい。



アンケートの自由意見から

自由な意見を言えるのは良いが、もっとより深めていける時間があってもよかった。

地域住民と市議会議員が触れ合う機会がなかなか無いので、こういう企画は良いと思います。

若い人に参加してほしいです。どうしたら参加してくれるか対策を。

議員とたはらトークin中央図書館U18 アンダー

18歳以下（主に中学生・高校生）を対象に意見交換会を実施します。
ぜひお気軽にお申し込みください。



日 時：令和7年8月17日（日）
午後1時30分から午後3時まで

会 場：中央図書館（くつろぎコーナー）

対 象：18歳以下（主に中学生・高校生）

定 員：30人程度（受付順）

テ ー マ：田原の未来について

申込方法：8月7日（木）までに二次元コードからお申し込みください。

↓ 申込みはこちらから



■実施方法：ワークショップ型の意見交換会です。5～6名程度のグループに分かれて、テーマについて意見交換を行います。

■問合せ先：田原市議会事務局

☎ 0531-23-3533 ✉ gikai@city.tahara.aichi.jp

お知らせ information

令和7年第3回定例会（9月議会）会期

8月29日（金）～9月26日（金）

日	月	火	水	木	金	土
8/24	25	26	27	28	29	30
					本会議 (議案審議)	
31	9/1	2	3	4	5	6
		本会議 (一般質問)				
7	8	9	10	11	12	13
				文教厚生委員会 総務産業委員会	予算決算委員会 (補正予算)	
14	15 敬老の日	16	17	18	19	20
				予算決算委員会 (決算認定)		
21	22	23 秋分の日	24	25	26	27
		議会運営委員会			本会議 (採決等)	

開会時刻は10時です。（9月11日の総務産業委員会は13時30分からです。）

※日程および時間は、変更になる場合があります。

📺 マークの日に、一般質問の映像をケーブルテレビ・インターネットで中継していますので、ぜひご覧ください。

本会議・委員会は、誰でも傍聴できます。

令和6年度政務活動費

■ 令和6年度収支報告

会派名	所属議員数（期間）	交付額(円)	支出額(円)	返還額(円)
自由民主党田原市議団	13人（R6.4.1～R7.3.31）	3,120,000	2,458,950	661,050
市民クラブ	2人（R6.4.1～R7.3.31）	480,000	265,606	214,394
公明党田原市議団	1人（R6.4.1～R7.3.31）	240,000	240,191	0
青嵐会	1人（R6.4.1～R7.3.31）	240,000	0	240,000
国民民主党田原市議団	1人（R6.4.1～R7.3.31）	240,000	193,407	46,593

詳しい収支は、田原市議会ホームページをご覧ください。



■ 政務活動費とは

議員の調査研究、その他の活動をするために必要な経費の一部として、会派に交付される費用です。

田原市議会では、1人当たり、年間24万円（月額2万円）を会派に交付し、領収書等を添付した収支報告書が提出されています。

年度ごとに精算し、残額がある場合は、市に返還しなければなりません。

東三河の各市の状況は…

《議員1人当たりの交付額》（令和6年度）

豊橋市議会	年間	108万円
蒲郡市議会	年間	29万円
豊川市議会	年間	27.6万円
田原市議会	年間	24万円
新城市議会	年間	15万円

田原市議会の個人情報保護制度の施行状況

田原市議会の個人情報の保護に関する条例第51条の規定に基づき、令和6年度の施行状況を次の通り公表します。

■ 開示請求等の施行状況

開示請求	決 定 の 内 容				訂正請求	利用停止 請 求	審査請求
	全部開示	一部開示	不開示	うち不存在			
0件					0件	0件	0件

4月11日
田原市戦没者追悼式



全議員が参列し、戦没者を追悼しました。また、議長が議会を代表して追悼の辞を述べました。

5月8日
全国市議会議長会表彰
東海市議会議長会表彰



長きにわたり市政の発展に寄与した功績により、古川美栄議員と中神靖典議員、岡本禎稔議員が表彰されました。

5月9日
広報広聴委員会勉強会



議会および議員がSNSを活用するためのリテラシーについて勉強しました。

5月19日
中国昆山市表敬訪問



市の友好都市である中国昆山市の訪問団の皆さんが来訪しました。

5月20日
風水害対応訓練の見学



大雨警報発表後、線状降水帯による大雨の可能性が高い状況で行われる市の風水害対応訓練の様子を見学しました。

6月10日
渥美半島の道路整備に関する
国土交通省要望



渥美半島の防災力を強化する道路の早期整備を国土交通省に要望しました。

議会ホームページで本会議（一般質問）の映像を見ることができます

パソコン・スマートフォン・タブレット端末で本会議（一般質問）の映像を見ることができます。



利用方法

- ① 下の二次元コードかアドレスからアクセス
- ② 視聴したい定例会、日程、議員を選択



<https://www2.city.tahara.aichi.jp/gikai/>

スマートフォンで議会だよりが読めます

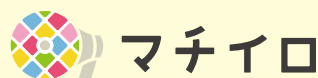
無料アプリ「マチイロ」で「議会だより」をスマートフォンでご覧になれます。

簡単な設定を行えば、議会だよりの発行に合わせて通知が届き、移動中などちょっとした空き時間にご覧になれます。ぜひ、ご利用ください。



利用方法

- ① 下の二次元コードかアドレスからアクセス
- ② 「マチイロ」をダウンロード
- ③ 個人設定→お住まいの地域を「田原市」に設定



マチを好きになるアプリ



https://machihiro.town/lp/aichi_tahara



インタビュー

Vol.46

神御衣御料所所長代理
渡辺夫妻

— 神御衣御料所の役割は。 —

神御衣御料所は伊勢の神宮へ奉納する特別な生糸を作る場所です。毎年6月にある繰糸始式で、昔ながらの方法と機械を使い生糸を紡ぎます。7月にはお糸船で伊勢の神宮に届けられます。この地の生糸は赤引きの糸と呼ばれています。

— お糸船とは。 —

渥美地域で古くから行われてきた行事で、生糸を伊良湖神社に納め、お糸船に乗せて伊勢の神宮へ送る儀式でした。江戸時代には豊橋から船が出航し、地域の養蚕業と深く関わっていました。明治18年に奉納は一時中止されましたが、現在の所長の祖父である渡辺熊十氏が復活を申請し、明治34年に認可されました。明治37年に現在の亀山町に御料所が建てられ、今では伊勢湾フェリーをお糸船に見立てて伊良湖港を出発しています。



— お糸船存続のための取り組みは。 —

所長が高齢になったため代理を置き、伊勢の神宮や明治神宮などとの関係を継承しています。また支援者の皆さんと、御料所の整備や神事の準備、お糸船の参加者募集なども行っています。

— 今後の抱負は。 —

この行事の認知を広げるため、SNSなどで積極的に情報発信していきたいです。人手や資金の確保、奉賛会の活性化などの課題はありますが、人とのつながりを大切に、地域に親しまれ長く続く行事にしていきたいと思っています。

(聞き手: 眞野尚功) 令和7年6月取材



発行/愛知県田原市議会 編集/広報広聴委員会 〒441-3492 愛知県田原市田原町南番場30-1 ☎ 0531-23-3533 FAX 0531-22-5952

📄 <https://www2.city.tahara.aichi.jp/gikai/> ✉ gikai@city.tahara.aichi.jp



社会福祉法人 福寿園

【法人本部】田原市六連町神ノ釜 9-3 Tel 27-0008

愛と感謝と奉仕

養護盲老人ホーム 福寿園
特別養護老人ホーム 田原福寿園
地域密着型複合福祉施設 田原ゆの里
ケアハウス パシフィック
特別養護老人ホーム 渥美福寿園
地域密着型複合福祉施設 花の里
田原福祉グローバル専門学校



募集

パートさん
しその葉の摘み取り作業

内職さん
しその葉の結束・パック詰め



(応募) まずはお気軽にお電話ください。

TEL 0531-37-0447

(有)前田園芸 田原市江比間町二字郷中45
自宅: TEL0531-37-0447